

今月の税金は

市県民税(一期)

納期は6月30日

# 正副議長に坂元、船元議員

助役に江良英千代氏を決定

オ149号  
編集と発行  
阿久根市総務課  
TEL(代表)450  
印刷所  
有限会社福崎印刷所

昭和34年6月1日発行

改選後、はじめての第二回臨時議会は、13日前半10時開会。年長者朴議員が仮議長となり、議長の選挙を行った結果、全員一致して坂元善文議員を選出しました。

続いて、新議長のもとで、副議長に船元金吾議員をまた各議員の常任委員の決定、および各正副當任委員長の選挙などを実行し、こゝにはじめて新議会の構成を完了しました。

午後は、助役、監査委員などの同意を含む市長提出の三議案をそれぞれ原案通り決定して閉会しました。

後任は、助役、監査委員などとの同意を含む市長提出の三議案をそれぞれ原案通り決定して閉会しました。

各常任委員長はつ

議長 坂元 善文

副議長 船元 金吾

(総務委員)

委員長 早水 千秋

副委員長 神之田徳美

黒崎 定男

平石 正美

奥平 武夫

(建設委員)

委員長 若松 坂二

副委員長 石崎 高志

西 喜吉

福田 重徳

浜山 正吉

小屋 忠志

(経済委員)

委員長 大内 実

副委員長 海平 善文

中野 忠

木原 崑

牟礼 乙助

江良英千代

(文教厚生委員)

委員長 坂元 金次郎

副委員長 新井 敏太

大田貞右エ門

(監査委員に平石議員)

委員長 川路 利成

副委員長 上野 重治

大田貞右エ門

(議会の自主性と権威を保持して)

議会の構成に当りまし

ては是々非々主義の態度を堅持

して行くと同時に、あくまでも議

会の自主性と権威を保持し、全市

並びに議員各位の御支援、御協

力をしておりました。

もとより浅学菲才その任にあ

るが阿久根市は特に自主財源

に乏しく財政的にも非常に厳迫

した現状でありまして、山積し

て行かねばならない市政の前

途を思ふところ、その責務の重且

たがゆるところ、その責務の重且

# 優良一七團体 四七名を表彰

米の生産費は石当り 10,799円

農政シリーズ（その1）

市農業委員会では昭和33年度調査事業の一つとして主たる農産物の（水稻、麦、果樹、甘藷、そさい、煙草、養蚕）生産費調査を40戸の農家に依頼して調査しておりますが、このほど、その結果がまとまりましたので今月から数回にわたりおしらせしたいと思います。

生産費を調査するには、いろいろな方法があるのですが、今回行つたのは、簡単にいつて「原価計算による生産費に資本利子を加えたもの」です。では最初に水稻の生産費からはじめることにします。

## 水稻の生産費

毎年田植えの頃になると、その年の米価決定をめぐつて新聞紙上にぎわっていますが、今年あたり農業団体が毎年叫び続けていた、生産費所得補償方式が幾分とり入れられそうですが、私達農民は自分でつくった米の生産費がいくらかうつっているかをつきり認識していることが大切でしょう。さて33年度米の生産費調査を担当した農家は、大川、波留、赤瀬川、多田、脇本地區から各一戸5戸の農家です。

この調査農家の平均反相当生産費を費目別にみるとつぎの表通りになります。

種苗費・薬剤費・肥料費・労力費・農具費・建物費			
303	431	1,641	15,800
資料費・畜力費・税公課・資本利子 合計			
168	324	1,087	3,302

昨年は異常旱ばつで減収したり灌水等の労力費が異常にかさんだりはしていますが、水稻を1反歩耕作するには、25.107円かかるといふことがあります。

つぎに米を1石生産するに要する費用、すなわち石当生産費を費目別にみると下の表の通りになります。

種苗費・薬剤費・諸材費・肥料費・労力費・農具費・建物費			
130	261	143	6,883
畜力費・資料費・税公課・資本利子 合計			
531	70	461	1,409

結局、水稻1石を生産するに要する、費用は、10,799円となります。もつとも、これがそのまま、米の単価だとみるとこれは間違っています。それはこの生産費の中には企業利潤が含まれていないし家族労賃の見積方にも問題があるからです。費目別の割合をみると労働費70.6%肥料費7.0%、畜力費5.4%、薬剤防除費2.7%などとされています。

さて、それでは、1反歩水稻を耕作すれば大体いくらもうかるのでしょうか、このもうけを反相当純収益（反相当純収入から反相当生産費を差引いたもの）といいます。

5戸平均の反相当純収益は、426円となっていますから

稻づくりもこの反相当純収益をもつと上げるような栽培上の研究が必要です。

最後に1日当家族労働力報酬（家族が稻作りに働く場合の1人1日の日当）を計算してみると、1反歩の稻作りに要する家族の労働時間は256.5時間となります。1日の労働時間を8時間とみて計算しますと498円86銭となります。これは男1人前の労働能力に換算した場合の報酬ですから、1日稻作りの仕事をすれば498円86銭の日当というわけです。これは都市労働者には、はあるかに及びませんが、日雇人夫以上の賃金にはなるようですね。

## 豚コレラの予防注射

今年の豚コレラの予防注射が

6月8日 佐潟、波留、山下全

部鶴川内全部

（田代を除く）

この日程で行われます。

この注射を受けなければならぬ豚は、市場で注射を受けなかつた豚、および繁殖豚です。

なお係の人は各戸を廻つて注射しますが、豪雨の場合には延期します。

6月4日 大川全域、大丸、潟

11日 鳥浦、浦東、下

村、上原、大谷、黒

ノ上、黒浜、大渡、

体重

5.5キロのもの

（月取一万五千円程度）

（月取一万五千円程度）